



ボリューム アクセス グループとイニシエーターの操作 Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

ボリューム アクセス グループとイニシエーターの操作	1
ボリュームアクセスグループを作成する	1
詳細情報の参照	2
個々のアクセス グループの詳細を表示する	2
ボリュームアクセスグループの詳細	3
アクセスグループにボリュームを追加する	3
アクセスグループからボリュームを削除する	3
イニシエーターを作成する	4
イニシエーターを編集する	5
ボリューム アクセス グループに単一のイニシエーターを追加する	5
ボリューム アクセス グループに複数のイニシエーターを追加する	7
アクセス グループからイニシエーターを削除する	7
アクセスグループを削除する	8
イニシエーターを削除する	8

ボリューム アクセス グループとイニシエーターの操作

ボリュームアクセスグループを作成する

安全なアクセスのために、イニシエーターをボリュームのコレクションにマッピングすることで、ボリューム アクセス グループを作成できます。その後、アカウントの CHAP イニシエーター シークレットとターゲット シークレットを使用して、グループ内のボリュームへのアクセスを許可できます。

イニシエーターベースの CHAP を使用する場合は、ボリューム アクセス グループ内の単一のイニシエーターに対して CHAP 資格情報を追加して、セキュリティを強化できます。これにより、既存のボリューム アクセス グループにこのオプションを適用できるようになります。

手順

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。
2. *アクセス グループの作成*をクリックします。
3. 名前 フィールドにボリューム アクセス グループの名前を入力します。
4. 次のいずれかの方法で、イニシエーターをボリューム アクセス グループに追加します。

オプション	説明
ファイバーチャネルイニシエーターの追加	<p>a. [イニシエーターの追加] の下で、[バインドされていないファイバー チャネル イニシエーター] リストから既存のファイバー チャネル イニシエーターを選択します。</p> <p>b. *FCイニシエーターの追加*をクリックします。</p> <p> この手順中に、*イニシエーターの作成*リンクをクリックし、イニシエーター名を入力して*作成*をクリックすると、イニシエーターを作成できます。イニシエーターを作成すると、システムによって自動的にイニシエーター リストに追加されます。</p> <p>形式のサンプルは次のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; text-align: center; background-color: #f9f9f9;">5f:47:ac:c0:5c:74:d4:02</div>

オプション	説明
iSCSIイニシエーターの追加	<p>[イニシエーターの追加] で、[イニシエーター] リストから既存のイニシエーターを選択します。注: [イニシエーターの作成] リンクをクリックし、イニシエーター名を入力して [作成] をクリックすると、この手順中にイニシエーターを作成できます。イニシエーターを作成すると、システムによってそのイニシエーターがイニシエーター リストに自動的に追加されます。</p> <p>形式のサンプルは次のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre>iqn.2010-01.com.solidfire:c2r9.fc0.2100000e1e09bb8b</pre> </div> <p> 各ボリュームのイニシエーター IQN は、[管理] > [ボリューム] > [アクティブ] リストのボリュームの [アクション] メニューで [詳細の表示] を選択すると見つかります。</p> <p>イニシエーターを変更するときに、requiredCHAP 属性を True に切り替えることで、ターゲット イニシエーター シークレットを設定できるようになります。詳細については、ModifyInitiator API メソッドに関する API 情報を参照してください。</p> <p>"Element APIでストレージを管理する"</p>

5. オプション: 必要に応じてイニシエーターを追加します。
6. [ボリュームの追加] で、[ボリューム] リストからボリュームを選択します。
 ボリュームは「接続されたボリューム」リストに表示されます。
7. オプション: 必要に応じてボリュームを追加します。
8. *アクセス グループの作成*をクリックします。

詳細情報の参照

[アクセスグループにボリュームを追加する](#)

個々のアクセス グループの詳細を表示する

アタッチされたボリュームやイニシエーターなどの個々のアクセス グループの詳細をグラフィック形式で表示できます。

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。
2. アクセス グループの [アクション] アイコンをクリックします。
3. *詳細を表示*をクリックします。

ボリュームアクセスグループの詳細

[管理] タブの [アクセス グループ] ページには、ボリューム アクセス グループに関する情報が表示されます。次の情報が表示されます。

- **ID:** アクセス グループのシステム生成 ID。
- **名前:** アクセス グループの作成時に付けられた名前。
- **アクティブボリューム:** アクセス グループ内のアクティブボリュームの数。
- **圧縮:** アクセス グループの圧縮効率スコア。
- **重複排除:** アクセス グループの重複排除効率スコア。
- **シン プロビジョニング:** アクセス グループのシン プロビジョニング効率スコア。
- **全体的な効率:** アクセス グループの全体的な効率スコア。
- **イニシエーター:** アクセス グループに接続されているイニシエーターの数。

アクセスグループにボリュームを追加する

ボリューム アクセス グループにボリュームを追加することができます。各ボリュームは複数のボリューム アクセス グループに属することができます。各ボリュームが属するグループは、[アクティブ ボリューム] ページで確認できます。

この手順を使用して、ファイバー チャネル ボリューム アクセス グループにボリュームを追加することもできます。

1. 管理 > *アクセス グループ* をクリックします。
2. ボリュームを追加するアクセス グループの [アクション] アイコンをクリックします。
3. *編集* ボタンをクリックします。
4. [ボリュームの追加] で、[ボリューム] リストからボリュームを選択します。

この手順を繰り返すことで、さらにボリュームを追加できます。

5. *変更を保存* をクリックします。

アクセスグループからボリュームを削除する

アクセス グループからボリュームを削除すると、グループはそのボリュームにアクセスできなくなります。

アカウント内の CHAP 設定を変更したり、アクセス グループからイニシエーターまたはボリュームを削除したりすると、イニシエーターが予期せずボリュームにアクセスできなくなる可能性があります。ボリューム アクセスが予期せず失われないことを確認するには、アカウントまたはアクセス グループの変更によって影響を受ける iSCSI セッションを常にログアウトし、イニシエーター設定とクラスター設定の変更が完了した後にイニシエーターがボリュームに再接続できることを確認します。

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。
2. ボリュームを削除するアクセス グループの [アクション] アイコンをクリックします。
3. *編集*をクリックします。
4. ボリューム アクセス グループの編集 ダイアログ ボックスの [ボリュームの追加] で、[接続されたボリューム] リストの矢印をクリックします。
5. リストから削除するボリュームを選択し、**x** アイコンをクリックして、リストからボリュームを削除します。

この手順を繰り返すことで、さらに多くのボリュームを削除できます。

6. *変更を保存*をクリックします。

イニシエーターを作成する

iSCSI またはファイバー チャネル イニシエーターを作成し、オプションでエイリアスを割り当てることができます。

API 呼び出しを使用して、イニシエータベースの CHAP 属性を割り当てることもできます。イニシエーターごとにCHAPアカウント名と資格情報を追加するには、CreateInitiator CHAP アクセスと属性を削除および追加するためのAPI呼び出し。イニシエータのアクセスは、1つ以上の仮想ネットワークIDを1つ以上指定することで、1つ以上のVLANに制限できます。`CreateInitiators`そして`ModifyInitiators`API呼び出し。仮想ネットワークが指定されていない場合、イニシエーターはすべてのネットワークにアクセスできます。

詳細については、API リファレンス情報を参照してください。 ["Element APIでストレージを管理する"](#)

手順

1. 管理 > *イニシエーター*をクリックします。
2. *イニシエーターの作成*をクリックします。
3. 単一のイニシエーターまたは複数のイニシエーターを作成するには、次の手順を実行します。

オプション	手順
単一のイニシエーターを作成する	<ol style="list-style-type: none"> a. *単一イニシエーターの作成*をクリックします。 b. IQN/WWPN フィールドにイニシエーターの IQN または WWPN を入力します。 c. エイリアス フィールドにイニシエーターのフレンドリ名を入力します。 d. *イニシエーターの作成*をクリックします。

オプション	手順
複数のイニシエーターを作成する	<ol style="list-style-type: none"> *イニシエーターの一括作成*をクリックします。 テキスト ボックスに IQN または WWPN のリストを入力します。 *イニシエーターの追加*をクリックします。 表示されたリストからイニシエーターを選択し、*エイリアス*列の対応する追加アイコンをクリックして、イニシエーターのエイリアスを追加します。 新しいエイリアスを確認するには、チェックマークをクリックします。 *イニシエーターの作成*をクリックします。

イニシエーターを編集する

既存のイニシエーターのエイリアスを変更したり、エイリアスがまだ存在しない場合は追加したりできます。

イニシエーターごとにCHAPアカウント名と資格情報を追加するには、ModifyInitiator CHAP アクセスと属性を削除および追加するためのAPI呼び出し。

見る["Element APIでストレージを管理する"](#)。

手順

1. 管理 > *イニシエーター*をクリックします。
2. 編集するイニシエーターのアクション アイコンをクリックします。
3. *編集*をクリックします。
4. エイリアス フィールドにイニシエーターの新しいエイリアスを入力します。
5. *変更を保存*をクリックします。

ボリューム アクセス グループに単一のイニシエーターを追加する

既存のボリューム アクセス グループにイニシエーターを追加できます。

イニシエーターをボリューム アクセス グループに追加すると、イニシエーターはそのボリューム アクセス グループ内のすべてのボリュームにアクセスできるようになります。



各ボリュームのイニシエーターを見つけるには、[アクション] アイコンをクリックし、アクティブ ボリューム リストでボリュームの [詳細の表示] を選択します。

イニシエーターベースの CHAP を使用する場合は、ボリューム アクセス グループ内の単一のイニシエーターに対して CHAP 資格情報を追加して、セキュリティを強化できます。これにより、既存のボリューム アクセス グループにこのオプションを適用できるようになります。

手順

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。
2. 編集するアクセス グループの アクション アイコンをクリックします。
3. *編集*をクリックします。
4. ボリューム アクセス グループにファイバー チャネル イニシエーターを追加するには、次の手順を実行します。
 - a. [イニシエーターの追加] の下で、[バインドされていないファイバー チャネル イニシエーター] リストから既存のファイバー チャネル イニシエーターを選択します。
 - b. *FCイニシエーターの追加*をクリックします。



この手順中にイニシエーターを作成するには、[イニシエーターの作成] リンクをクリックし、イニシエーター名を入力して [作成] をクリックします。イニシエーターを作成すると、システムによって自動的にそのイニシエーターが イニシエーター リストに追加されます。

形式のサンプルは次のとおりです。

```
5f:47:ac:c0:5c:74:d4:02
```

5. ボリューム アクセス グループに iSCSI イニシエーターを追加するには、[イニシエーターの追加] で、[イニシエーター] リストから既存のイニシエーターを選択します。



この手順中にイニシエーターを作成するには、[イニシエーターの作成] リンクをクリックし、イニシエーター名を入力して [作成] をクリックします。イニシエーターを作成すると、システムによって自動的にそのイニシエーターが イニシエーター リストに追加されます。

イニシエーター IQN の許容形式は次のとおりです: iqn.yyyy-mm (y と m は数字)、その後には数字、小文字の英字、ピリオド (.)、コロン (:)、またはダッシュ (-) のみを含むテキストが続きます。

形式のサンプルは次のとおりです。

```
iqn.2010-01.com.solidfire:c2r9.fc0.2100000e1e09bb8b
```



各ボリュームのイニシエーター IQN は、[管理] > [ボリューム] の [アクティブ ボリューム] ページで [アクション] アイコンをクリックし、ボリュームの [詳細の表示] を選択すると確認できます。

6. *変更を保存*をクリックします。

ボリューム アクセス グループに複数のイニシエーターを追加する

既存のボリューム アクセス グループに複数のイニシエーターを追加して、CHAP 認証の有無にかかわらず、ボリューム アクセス グループ内のボリュームにアクセスできるようにすることができます。

ボリューム アクセス グループにイニシエーターを追加すると、イニシエーターはそのボリューム アクセス グループ内のすべてのボリュームにアクセスできるようになります。



各ボリュームのイニシエーターを見つけるには、[アクション] アイコンをクリックし、アクティブ ボリューム リスト内のボリュームの [詳細の表示] をクリックします。

既存のボリューム アクセス グループに複数のイニシエーターを追加してボリュームへのアクセスを有効にし、そのボリューム アクセス グループ内の各イニシエーターに一意的な CHAP 資格情報を割り当てることができます。これにより、既存のボリューム アクセス グループにこのオプションを適用できるようになります。

API 呼び出しを使用して、イニシエータベースの CHAP 属性を割り当てることができます。イニシエーターごとに CHAP アカウント名と資格情報を追加するには、ModifyInitiator API 呼び出しを使用して CHAP アクセスと属性を削除および追加する必要があります。

詳細については、"[Element APIでストレージを管理する](#)"。

手順

1. 管理 > *イニシエーター*をクリックします。
2. アクセス グループに追加するイニシエーターを選択します。
3. *一括操作*ボタンをクリックします。
4. ボリューム アクセス グループに追加 をクリックします。
5. [ボリューム アクセス グループに追加] ダイアログ ボックスで、[ボリューム アクセス グループ] リストからアクセス グループを選択します。
6. *[追加]*をクリックします。

アクセス グループからイニシエーターを削除する

アクセス グループからイニシエーターを削除すると、そのイニシエーターはそのボリューム アクセス グループ内のボリュームにアクセスできなくなります。ボリュームへの通常のアカウント アクセスは中断されません。

アカウント内の CHAP 設定を変更したり、アクセス グループからイニシエーターまたはボリュームを削除したりすると、イニシエーターが予期せずボリュームにアクセスできなくなる可能性があります。ボリューム アクセスが予期せず失われないことを確認するには、アカウントまたはアクセス グループの変更によって影響を受ける iSCSI セッションを常にログアウトし、イニシエーター設定とクラスター設定の変更が完了した後にイニシエーターがボリュームに再接続できることを確認します。

手順

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。

2. 削除するアクセス グループの アクション アイコンをクリックします。
3. 表示されたメニューで、[編集] を選択します。
4. ボリューム アクセス グループの編集 ダイアログ ボックスの [イニシエーターの追加] で、イニシエーター リストの矢印をクリックします。
5. アクセス グループから削除する各イニシエーターの x アイコンを選択します。
6. *変更を保存*をクリックします。

アクセスグループを削除する

アクセス グループが不要になったら削除できます。グループを削除する前に、ボリューム アクセス グループからイニシエーター ID とボリューム ID を削除する必要はありません。アクセス グループを削除すると、ボリュームへのグループ アクセスは中止されま

1. 管理 > *アクセス グループ*をクリックします。
2. 削除するアクセス グループの アクション アイコンをクリックします。
3. 表示されたメニューで、[削除] をクリックします。
4. このアクセス グループに関連付けられているイニシエーターも削除するには、[このアクセス グループ内のイニシエーターを削除] チェック ボックスをオンにします。
5. 操作を確定します。

イニシエーターを削除する

イニシエーターは不要になったら削除できます。イニシエーターを削除すると、関連付けられているボリューム アクセス グループからもイニシエーターが削除されます。イニシエーターを使用する接続は、接続がリセットされるまで有効なままです。

手順

1. 管理 > *イニシエーター*をクリックします。
2. 単一のイニシエーターまたは複数のイニシエーターを削除するには、次の手順を実行します。

オプション	手順
単一のイニシエーターを削除	<ol style="list-style-type: none"> a. 削除するイニシエーターの*アクション*アイコンをクリックします。 b. *削除*をクリックします。 c. 操作を確定します。

オプション	手順
複数のイニシエーターを削除する	<ol style="list-style-type: none">a. 削除するイニシエーターの横にあるチェックボックスを選択します。b. *一括操作*ボタンをクリックします。c. 表示されるメニューで、[削除]を選択します。d. 操作を確定します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。